令和元年八月四日　福寿の集い

神　示

「教え」を家族　縁者で学び　「心の道」に生きる今(今日)に感謝する
人(人間)とこの世(社会)に命(生命)を頂き　世に奉仕する「心の姿」に　人生の意味がある
「人生の真理」　あるべき姿を知って　信者の心(人生)はますます光り輝く
信者に申す
明魂(みょうこん)を願い求め　奉仕に生きる心(人生)を　欠いてはいけない
日々(ひび)「教え」に生きて　「人生」を家族　縁者に奉仕する
ますます「運命」は磨かれ　生きがいある人生を歩み抜ける
「命(運命)」の尊さを知った今こそ　「実体」を正すことに努力する
多くの出会いが生まれ　愛され　信頼され　期待される人(人生)と成る
明生(みょうせい)の力に生き　活(い)かされる人間は
「教え」を「人生」の支えにできるほど
「心(人生)」の気付き　悟りが深まる
人格は高く引き上げられ
いついつまでも　家族　縁者　友人　知人の心に生き続ける
「心の道」に良き因を残す人(人間)の姿が　ここにある